

### 新制度で再スタート

昭和20(1945)年5月25

日の東京大空襲で、小石川区にあった将棋大成会の本部は全焼。戦後の混乱の中、多くの仲間と音信不通で、かつ再建の資金もない中で、仲間とともに「棋界再建」に向けて動き出した渡辺東一でした。

しかし、近所に住んでいた金易二郎八段(名譽九段)や木村義雄(十四世名人)と連絡はついたものの、将棋大成会は終戦前後に解散しており、再建に乗り出す資金もありませんでした。

渡辺の家に集まって一同協議するのですが、名案は出ません。すると渡辺は、「まず、この

電話を売り…それから—」。

さらに、トモ夫人を呼んで、「おい、着物が残っていたらう。何枚ぐらいあるかな。」「はい」と立ち上がった夫人に一同は驚き、渡辺の顔を見ると「なに、焼けたと思えば何でもありません」と平然と答えたそうです。

また、自分自身や一家の衣食住が優先し、わが身を養うのも大変な時代に、来訪者にはすいとんを振る舞い、渡辺は空腹をこらえて、資金調達のためにスポンサーとなつてくれる新聞社などへ幾度も幾度も日参しました。

当時のことを、五十嵐豊一九段は「戦後の食糧難の時に、渡



木村義雄十四世名人(右)と渡辺東一(昭和24年ごろ)／写真提供=渡辺桂三氏

辺先生のお宅へお伺いすると、まるで自分たちの子供のようにご夫婦揃って歓迎してくださり、よく、すいとんを食べさせていただいたことが印象に残っています」と回顧します。

後進の面倒を見ながらも、棋界再建という大きな目標を持ち、地道に努力を続けてきた渡辺でしたが、ついに「名人戦」の主催紙である毎日新聞社と「日本田」布という薬品工業会社から資金を得ることが出来て、昭和21(1946)年

5月から木村義雄が提唱した「段位撤廃」による実力本位の順位戦が開されることになりました。

これまでの制度では、一度八段になれば、よほどのことがない限り七段に降段はしませんでしたが、新しい制度は、成績が悪ければどんどん順位

も下がり、八段リーグに参加できないばかりか、対局料なども減ってしまうため、棋士は必死になって対局に打ち込まなければならなくなるから、きつと名勝負が生み出されるだろう、という意図でした。

※文中敬称略(次号へつづく)  
【参考資料】「名棋士勝負」天狗太郎／「将棋百年」山本武雄

## 9月の休日当番医

休日当番医での診療時間  
 外科・産婦人科 = 9時～22時(ただし16時～19時は除く)  
 内科 = 9時～16時(19時～22時は急病センターで行います)

日(曜日)	外科	内科	産婦人科
3日(日)	キッコーマン総合病院 (☎7123-5911)	山縣医院 (☎7125-3741)	遠藤産婦人科医院 (☎7124-7860)
10日(日)	梅郷整形外科クリニック (☎7125-2011)	岡田小児科医院 (☎7122-2519)	杉崎クリニック (☎7125-1070)
17日(日)	門倉病院 (☎7124-5311)	東葛飾病院 (☎7196-1166)	川間太田産婦人科医院 (☎7127-1135)
18日(月)	山崎外科内科 (☎7122-2359)	関宿中央医院 (☎7198-5108)	キッコーマン総合病院 (☎7123-5911)
23日(土)	西村クリニック (☎7123-0050)	青木クリニック (☎7198-7864)	小張総合病院 (☎7124-6666)
24日(日)	しばやま整形外科 (☎7120-5355)	大槻医院 (☎7127-3424)	荒井医院 (☎7122-5723)

※休日当番医は変更することもあります。受診の際にはテレホンガイド(☎7124-7272:コード6101)、または野田市ホームページ(<http://www.city.noda.chiba.jp/kurashi/04-01-01.html>)で確認をしてください。

### 急病センター

☎7125-1188


▼内科(小児科) = 19時～22時(毎日)  
▼歯科診療 = 9時～正午(休日)

▼8月14日朝、首都圏で大規模な停電が発生しました。本市の地域には影響は無かったようですが、皆さんの中には、外出先で影響を受けた方もいらしたのではないのでしょうか▼このような事故が発生したことで、その影響の大きさに驚かされると同時に、現代社会の弱点を見せられた思いがしました▼関東地方に大規模地震が発生したときの影響は、さらに計り知れないものになると思います。9月1日は防災の日です。ぜひ、この時期に防災の再点検をされてはいかがでしょうか

(と)


編集後記

市の木




けやき

市の花



つつじ

市の鳥



ひばり

人口と世帯(18.8.1現在) ●人口=154,214人(+62) 男=77,526人(+56) 女=76,688人(+6) ●世帯数=57,352世帯(+108) ●市の面積=103.54km<sup>2</sup>  
 市報のだ 第979号 平成18年9月1日号／発行=野田市(〒278-8550 野田市鶴奉7番地の1・☎047125-1111)／編集=企画財政部秘書広報課